

令和6年2月9日  
 高齢福祉部  
 介護予防・地域支援課

## せたがやデジタルポイントラリー事業の全区展開について

### 1 主旨

令和5年10月より、区内3地区（松沢、用賀、祖師谷）で試行的に実施している「せたがやデジタルポイントラリー事業（以下「ポイントラリー」という。）」について、11月までの実施状況から、多様な年齢層や健康状態の高齢者に外出機会の増加傾向が見られ、事業の継続要望も多いことなどを踏まえ、令和6年度はアンケートを踏まえ実施方法の一部変更を行いつつ、実施地区を区内全28地区に拡大し、令和6年10月よりポイントラリーを実施する。

※試行実施からの主な変更点

変更点	令和5年度（試行実施）	令和6年度
実施地区	3地区（松沢・用賀・祖師谷）	区内全28地区
参加方法	スマートフォン方式、ICタグ方式	スマートフォン方式
募集人数	900人（各地区300人程度）	4,200人（各地区150人程度）

### 2 試行事業の実施状況及び評価等

#### (1) 参加申込状況（令和5年12月末日現在）

年齢層	75歳未満		75歳以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
スマートフォン	91人	37.1%	70人	28.6%	161人	65.7%
ICタグ	19人	7.8%	65人	26.5%	84人	34.3%
合計	110人	44.9%	135人	55.1%	245人	100%

⇒ICタグ参加申込者のうちスマホ  
 所有55人（約66%）  
 （うち日常的に利用47人）

⇒参加申込者の年齢層を見ると75歳未満が約45%、75歳以上が約55%であった。  
 ⇒ICタグ参加申込者84人のうち約66%にあたる55人がスマートフォンを所有し、うち47人が、日ごろから電話やメール等を利用しており、スマートフォン参加に移行できる可能性がある高齢者が多い。

#### (2) 参加実績（令和5年10月～12月分）

##### ①ラリーポイント獲得数

16,933ポイント（参加者1人あたり平均69.1ポイント）

※スマートフォン：9,287ポイント、ICタグ：7,646ポイント

※10月分：3,085ポイント

11月分：6,476ポイント

12月分：7,372ポイント

※スマートフォン参加の特典（30ポイント）は除く。

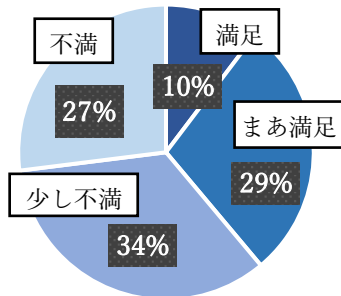
## ②参加特典交換実績

- ・スマートフォン参加者（せたがやPayのコイン）：54人（78,500コイン）
- ・ICタグ参加者（区内共通商品券）：35人（34,500円）

⇒参加方法はスマートフォン参加者が約66%で、ポイント獲得量も全体の約55%を占めており、外出の頻度はスマートフォン参加の方がより多かった。

## (3) 中間アンケート結果（10月30日までに参加申し込んだ169人を対象に実施）

### ①満足度（回答126人）

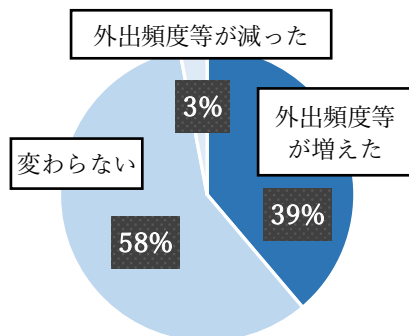


[少し不満、不満と回答した方の意見より]

- ・ラリーポイントに行ってもポイントが付かなかった。
- ・ラリースポットが少ない。
- ・ICタグの場合、その場でポイントが獲得できたか分からない

⇒ラリーポイントを付与するためのシステムの不安定さが満足度が伸びない主要因となっており、ラリー専用のアプリ改修等を通じてラリーポイントを安定して付与するよう改善していく必要がある。

### ②外出頻度の変化（回答134人）

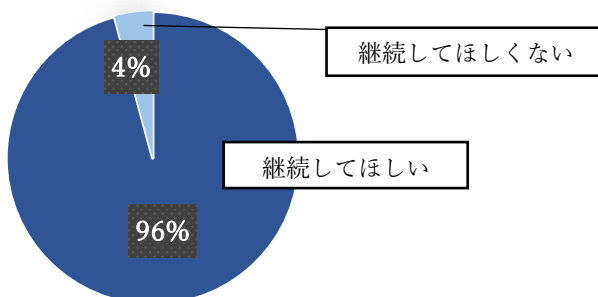


[外出頻度等が増えた参加者の内訳（複数回答）]

- 外出日数が増えた … 29（平均週2.5日）
- 1日の外出時間が増えた… 40（平均1.5時間）
- 1日の外出回数が増えた… 27（平均1.5回）

⇒ポイントラリーに参加し、外出頻度（外出日数、1日の外出時間、1日の外出回数のいずれか）が増えたと回答した方は全体の約40%で、ポイントラリーを実施したことによる効果が認められる。

### ③ポイントラリーの来年度以降の継続希望（回答120人）



## (4) 令和6年度ポイントラリー実施の方向性

試行事業の状況やアンケート結果などから、来年度は区内全28地区を対象にポイントラリーを実施する。ただし、対象年齢は引き続き65歳以上とするが、より高齢者のスマートフォン活用の促進を図るため、参加方法はスマートフォンのみとする。

### 3 内容

#### (1) 実施の目的

生涯にわたり心身ともに健康で暮らすことは全ての高齢者の願いである。高齢者が日常生活において「歩く」ことを積極的に行うことは介護予防に有効であり、社会関係の豊かさは要介護状態の進行を遅らせることに高い相関が認められている。

このため、コロナ禍を通じて外出を控えがちになり、孤立になる危険性がある高齢者が積極的に外出し、歩くことを通じて人との交流、地域活動への参加等に繋がるよう、外出することがインセンティブとなるポイントラリーを実施することにより、高齢者の健康寿命の延伸や持続可能な介護保険制度に資することを目的とする。

#### (2) 対象者

65歳以上の区民を対象とする。なお、定員は先着4,200人(28地区×150人程度)とする。

#### (3) 実施地区及び実施期間

- ・全区(28地区)で実施する。
- ・令和6年10月1日(火)から令和7年3月下旬まで(約6か月間)とする。
- ・参加申込みは令和6年9月2日(月)から令和7年2月28日(金)までとし、定員に達した場合は期間中でも参加申し込みを停止する。
- ・令和7年度の実施期間は、アンケート等の結果を踏まえ、高齢者が外出しやすい期間に設定するとともに、実施期間外にはオンライン介護予防教室やまると介護予防教室等で高齢者の介護予防・フレイル予防を支援する。

#### (4) 事業内容

- ・参加を希望する高齢者は、電子申請、介護予防・地域支援課の窓口、各地区で実施する説明会等において参加申し込みを行う。
- ・ポイントラリーに参加する高齢者が、専用アプリをインストールしたスマートフォンを持って外出し、ラリーポイント用の機器を設置する協力店舗や公共施設等のラリースポットを通過することで、事業のポイントを1ポイント獲得する。
- ・ラリースポットについては、高齢者にとって「外出が楽しくなる場所」「高齢者に知ってもらいたい場所」「高齢者が日常的に通う場所」の3つの視点で、店舗、公共施設等から選定する。選定にあたっては区内関係所管に協力を依頼する。
- ・獲得したポイントは、50ポイントごとに500円分のせたがやPayのコインと交換することで、区内経済循環にも寄与できるようにする。

### 4 周知

- ・周知にあたっては、区報や区のHP、ポスター・チラシ(区広報板、町会・自治会の回覧、各地区で実施するスマートフォン講座等)のほか、社会福祉協議会のメールマガジンなどを活用する。また、あんしんすこやかセンターや民生委員に協力を依頼するなど、訪問活動と合わせて外出を控えがちな高齢者への周知を行う。
- ・令和6年9月以降に、各地区において説明会等を実施し、事業内容の説明とともに専用アプリのダウンロード方法や使用方法等について支援する。

## 5 その他

- (1) ラリーポイントの付与やラリースポットの選定、参加受付、説明会実施等の事業運営やせたがやP a yのコインへの交換については、民間事業者等へ委託する。
- (2) ポイントラリーの円滑な実施のため、ラリースポットにおけるポイント付与の技術的手法については、予算の範囲内で引き続き検討する。
- (3) ポイントラリー参加者で介護予防教室にも参加される方には、別途ポイントを付与するなど、高齢者の介護予防、フレイル予防の更なる促進を図る。
- (4) 参加者にはポイントラリー専用のリストストラップを配付することにより、高齢者同士の交流・地域参加促進にも寄与する。
- (5) 東京都補助事業の補助期間が令和5年度から令和7年度までの3か年であるため、令和8年度に向けて、区における他の事業との整理も含め、本事業の効果を検証し、令和8年度以降の事業内容を検討する。

## 6 所要経費

100,290千円

・特定財源として100,290千円

※都補助金99,990千円（子供・長寿・居場所区市町村包括補助事業10/10）  
ほか

## 7 今後のスケジュール（予定）

令和6年	4月～	システム改修等実施準備
	8月～	事業周知開始（ポスター掲示、チラシ配布等開始）
	9月1日	区のおしらせ・区のホームページで周知
	9月2日～	申込み開始（～2月28日） 説明会等実施
	10月1日～	事業開始（～3月下旬）